



2024年4月25日

各 位

会社名 未来工業株式会社
代表者名 取締役社長 山田雅裕
(コード番号7931 東証プライム 名証プレミア)
問合せ先 常務取締役 中島 靖
(TEL. 0584 - 68 - 1200)

「中期経営計画 2025」の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年3月期から2027年3月期を対象とする「中期経営計画2025」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、事業環境の変化に迅速に対応するため、1年ごとに計画を見直し、ローリングしていくことを方針としております。

記

1. 中期経営計画の概要

(1) 対象期間

2025年3月期から2027年3月期まで(3ヶ年)

(2) 重要な経営指標(最終年目標)

売上高47,090百万円、営業利益6,594百万円、経常利益6,722百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,525百万円

(3) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

- ・企業価値向上に向けた目標と施策への取組状況
 - ① 資本効率向上(ROE8%以上)
 - ② 業績向上(営業利益率12%以上)
 - ③ IR活動強化による投資家向け情報発信の充実
 - ④ 株主還元策

2. その他

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

未来工業株式会社

中期経営計画2025

(2025年3月期から2027年3月期まで)

東京証券取引所 プライム市場
名古屋証券取引所 プレミア市場
証券コード: 7931



- 中期経営計画2025
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
 - 企業価値向上に向けた目標と施策への取組状況
 - ① 資本効率向上
 - ② 業績向上
 - ③ IR活動強化
 - ④ 株主還元策

中期経営計画2025

(2025年3月期から 2027年3月期まで)

企業理念 「常に考える」

経営の基本方針

ユーザーの使い易い製品を提供

- ・ 絶え間ない新製品の開発
- ・ ユーザーへの迅速な対応
- ・ 社員の自主性・創造性の重視
- ・ 地域社会への貢献

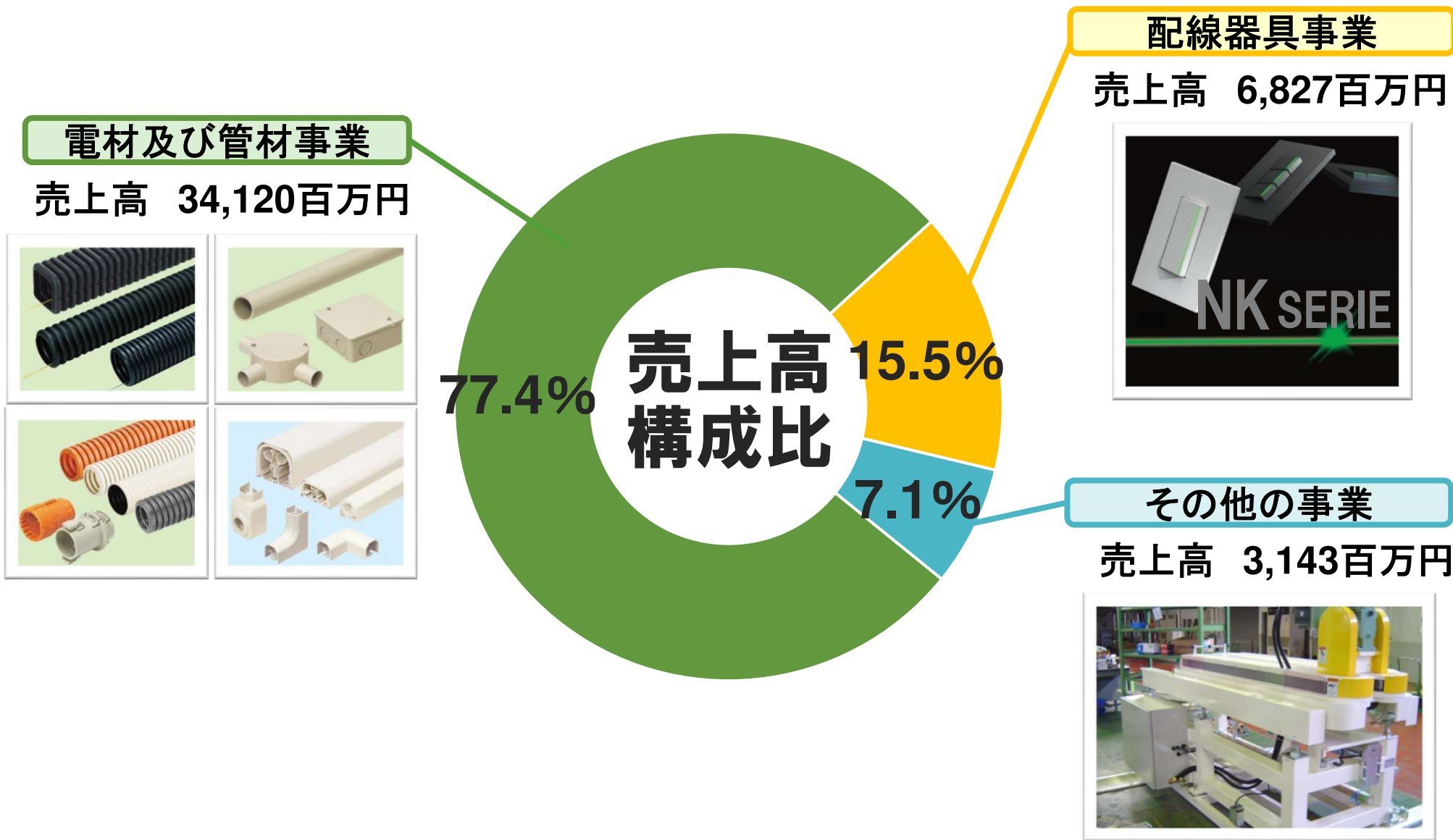
各事業の拡大

グループ各社の基盤強化

- ・ 経営の効率化
- ・ 独自性を生かした経営

継続的成長
収益拡大

企業価値最大化



各事業区分の状況

電材及び管材事業

関東地区を中心とした再開発や物流施設、データセンター、病院、官公庁の建て替え等の非住宅分野への推進に努める。
また、前年の価格改定による利益水準の維持に努める。



配線器具事業

意匠性に優れた利益率の高い製品ラインナップの充実により、非住宅分野を中心に拡販を目指す。



その他の事業

新規取引先の開拓、既存取引先への販売強化により、省力化機械及び樹脂成形用金型を企業グループ外への拡販に努める。



中期経営計画(連結)

(単位:百万円、%)

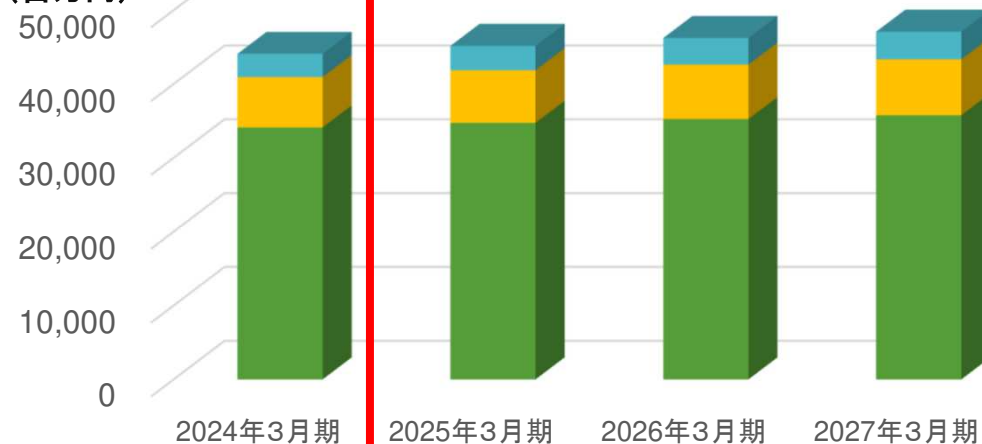
	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画	2027年3月期 計画	2024年-2027年 増減率
売上高	44,091	45,163	46,231	47,090	+ 6.8%
営業利益	7,332	6,102	6,103	6,594	△10.1%
営業利益率	16.6	13.5	13.2	14.0	△2.6pt
経常利益	7,477	6,227	6,230	6,722	△10.1%
当期純利益	5,116	4,205	4,198	4,525	△11.6%
ROE	10.3	8.2	7.9	8.2	△2.1pt

中期経営計画(連結)

(単位:百万円)

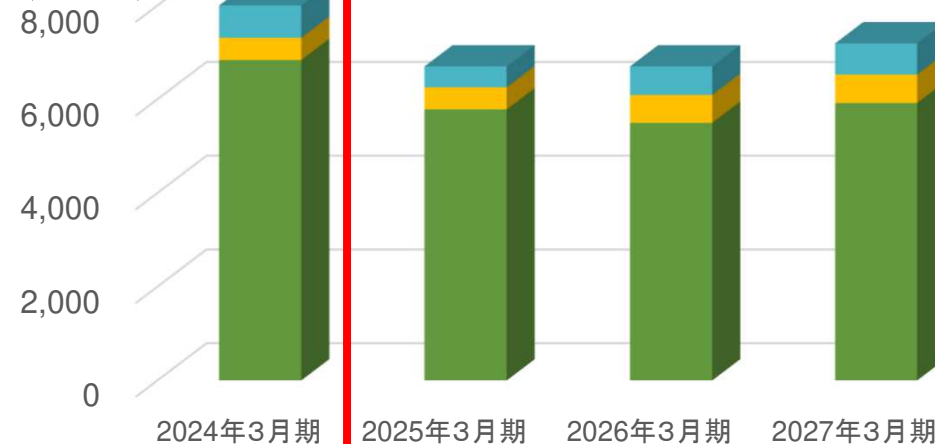
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2024年-2027年 増減率
売上高	44,091	45,163	46,231	47,090	+6.8%
電材及び管材	34,120	34,740	35,251	35,770	+4.8%
配線器具	6,827	7,124	7,367	7,567	+10.8%
その他	3,143	3,298	3,612	3,752	+19.4%
営業利益	7,332	6,102	6,103	6,594	△10.1%
電材及び管材	6,838	5,784	5,497	5,921	△13.4%
配線器具	473	472	596	605	+28.0%
その他	706	445	608	667	△5.6%

売上高
(百万円)



■ 電材及び管材 ■ 配線器具 ■ その他

営業利益
(百万円)



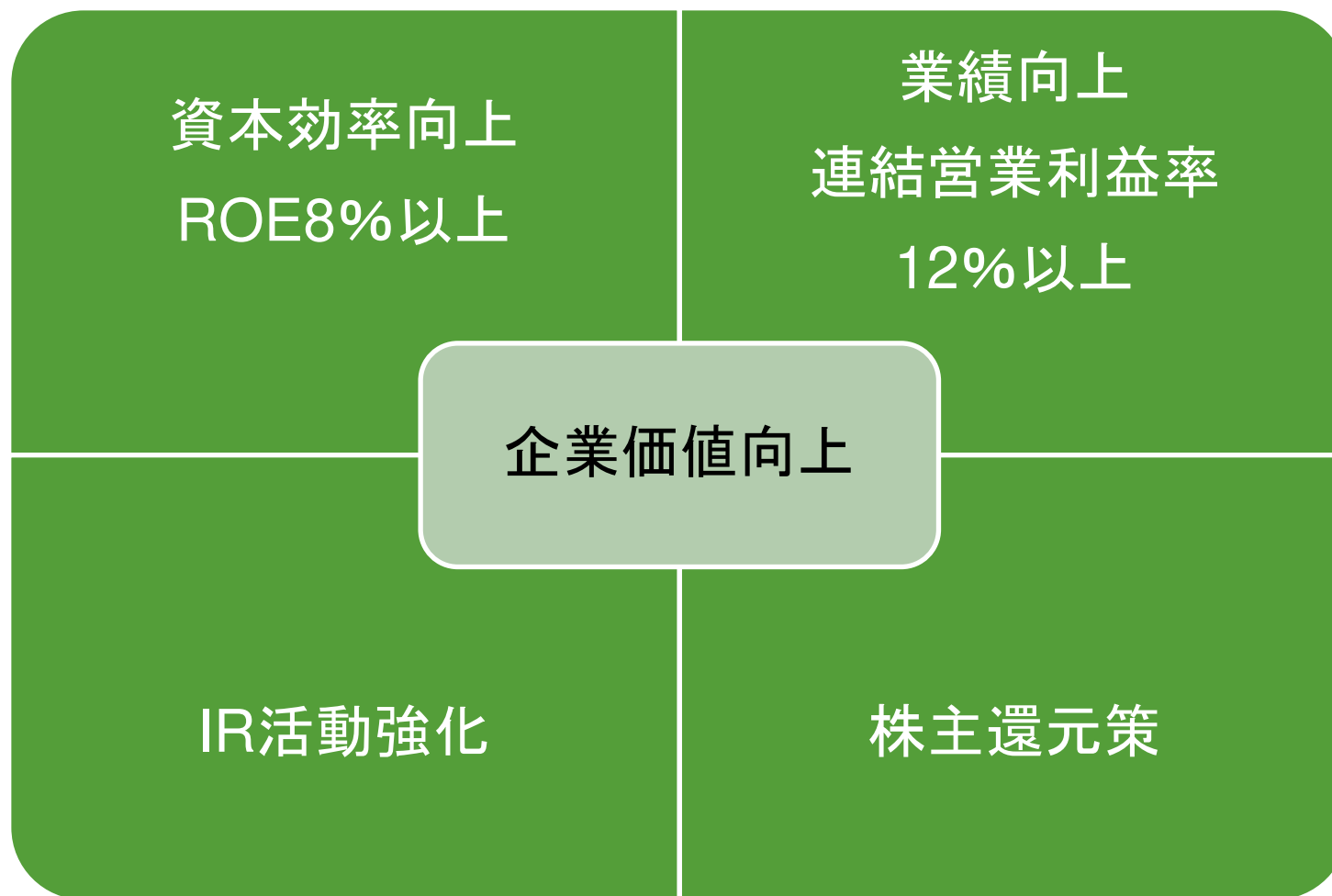
■ 電材及び管材 ■ 配線器具 ■ その他

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応

企業価値向上に向けた目標と施策への取組状況

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応(分析・計画開示)

- ・「中期経営計画2024」(2023年4月27日公表)で企業価値向上に向けた目標と施策として4つの取り組みを掲げました。



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

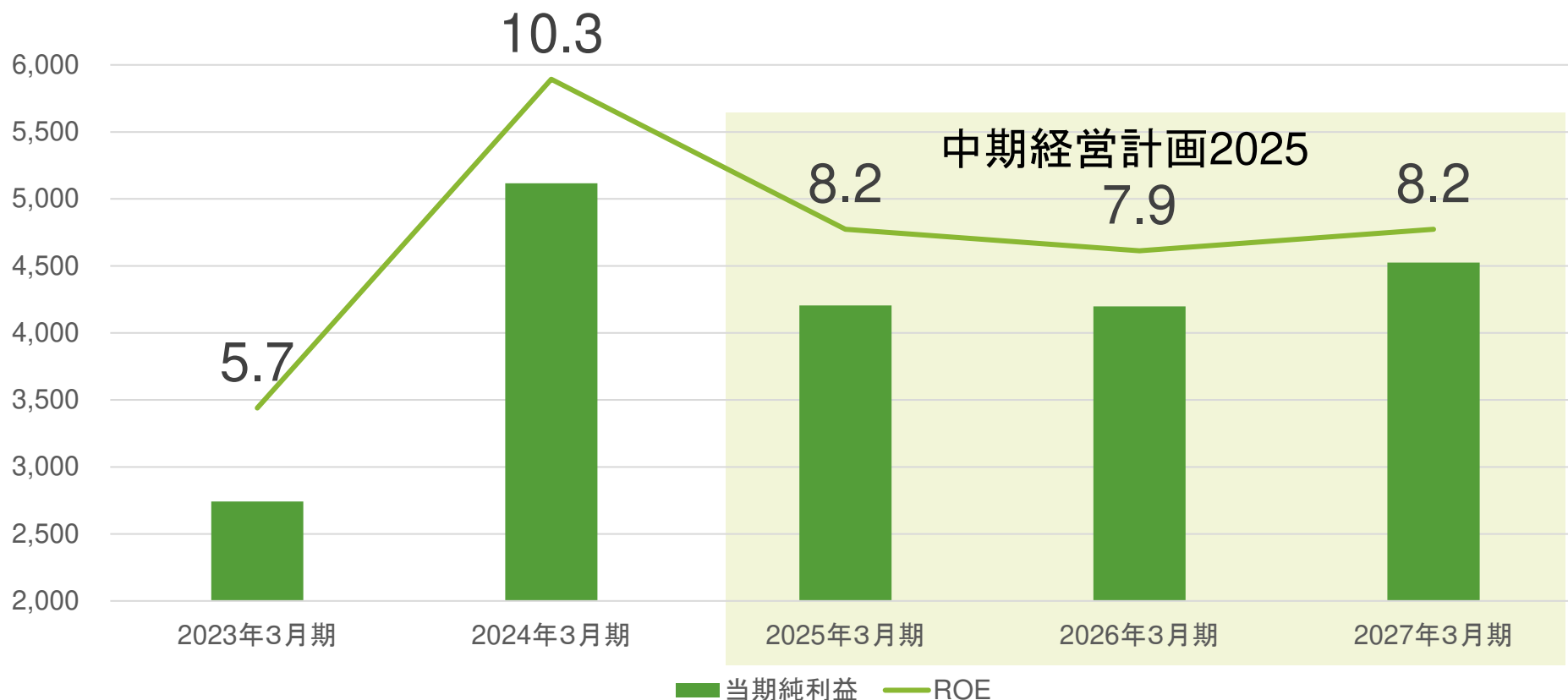
① 資本効率向上

取組

目標 ROE8%以上(2026年3月までに)

2024年3月期の主な取り組み

電材及び管材事業における販売価格改定により収益改善



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

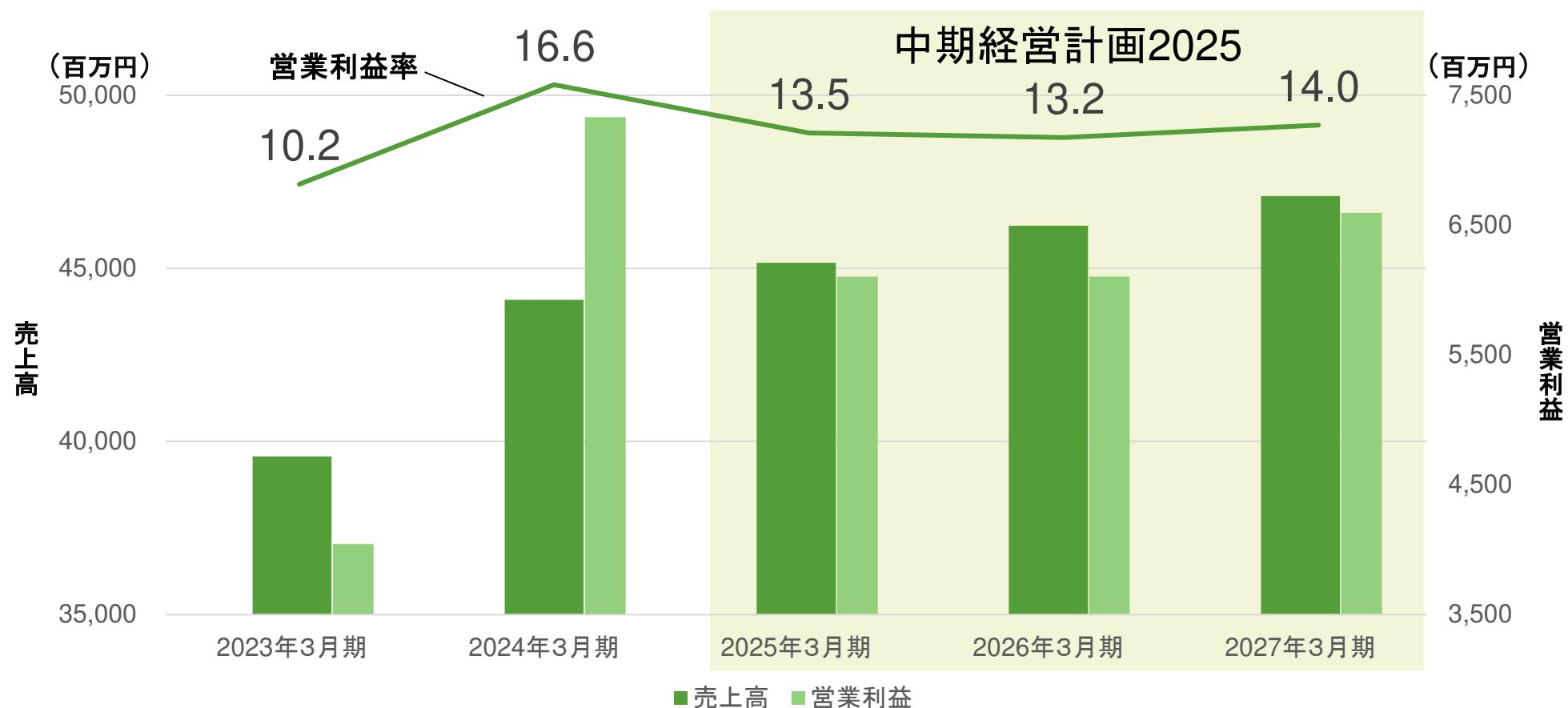
②業績向上

取組

目標 連結営業利益率12%以上(2026年3月までに)

2024年3月期の主な取り組み

電材及び管材事業における販売価格改定により連結営業利益率12%クリア



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

③IR活動強化による投資家向け情報発信の充実 投資家との対話機会の増加

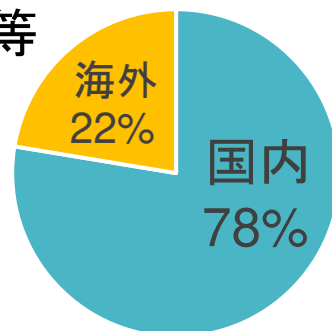
取組

2024年3月期の主な取り組み

イベント	頻度	対応者
機関投資家との個別面談 (WEB、対面)	四半期毎に10~20件	総合企画部担当取締役、 総合企画部
決算説明会	年2回	
個人投資家向け	年1回	
証券会社営業マン向け	年1回	総合企画部担当取締役

機関投資家の属性

アナリスト、ファンドマネージャー、
ポートフォリオマネージャー等



対話の主なテーマ

ビジネスモデルや強み、経営戦略、
業界動向、業績及び計画等

対話の状況報告

面談状況や投資家様から得られた
情報を取締役会にて共有

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

③IR活動強化による投資家向け情報発信の充実 任意開示情報への取り組み

取組

2024年3月期の主な取り組み

事業を通じて社会的課題解決に取り組み、持続可能な社会を推進

E 環境

- CO2排出量を集計し、ホームページへ掲載
- CO2フリー電力の活用
- CDP質問書へ回答し、認定を取得

S 社会

- 社員の自己啓発をサポートし、成長を支援
- 女性管理職登用にに向けた研修の充実
- 社員のワークライフバランスを尊重し、働きやすい職場作りを推進

G ガバナンス

- CG(コーポレート・ガバナンス)の強化を図り、経営判断の迅速化及び経営の透明性・公正性を高める
- 資本コストや株価を意識した経営の対応

当社HPにおいてサステナビリティの取り組みを掲載しております。是非ご高覧ください。
<https://www.mirai.co.jp/company/action/>

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

④株主還元策

取組

配当性向50%を目安に配当

2024年3月期の主な取り組み

電材及び管材事業における販売価格改定、110万株(3,623百万円)の自己株買い

